

令和7年度（2025年度） 須坂高等学校 学校評価（部署別）

10須坂高等学校

領域	対象	今年度の具体的目標（評価項目）	評価の観点	成果と課題	評価	改善策・向上策
教育活動	教育課程	1 SAHと連携し、生徒の進路希望に対応した教育課程になるよう、更に研究をすすめる。	生徒個々の進路希望実現に向けた科目配置ができたか。			
		2 SAHと連携し、多様な大学入試と新学習指導要領に対応し、より実践的な授業時間や科目の配置について研究する。	教育課程編成にあたって、多様化する大学入試を意識し、それに応じた授業時間や科目の配置について研究を進めることができたか。			
		3 「主体的・協働的・深い学び」のあり方について、教育課程の面から検討していく。	教職員で情報を共有しながら、意識を喚起していくことができたか。			
教育活動	進路支援	1 主体的な学習姿勢、および継続的計画的な学習習慣の確立を図る。	・オリエンテーションや面談を通して家庭学習の習慣を確立させる指導ができたか。 ・自主学習を支援するための学習環境の整備ができたか。			
		2 キャリア教育に関するイベントの充実を図る。	・イベントを通じ、自分の将来を深く考える支援ができたか。 ・事前・事後の活動を充実させ、人生観の向上が図れたか。			
		3 希望進路の実現に向け、適切な指導を行う。	・学年通信や進路講話等により学年や時期に応じた情報を提供できたか。 ・教科指導を充実させることができたか。 ・小論文や面接の指導を充実させることができたか。			
教育活動	生徒支援	1 学校生活の中で生徒自らが個性の伸長を図りながら、好ましい人間関係を育てる。	・生徒自ら基本的生活習慣を確立させるべく仕向けることができたか。 ・「いじめ」などがなく、生徒が安心して学校生活を送れるような支援体制作りができたか。 ・情報モラルに関する意識を高めることができたか。			
		2 日常の生活で直面するさまざまな課題に対して、主体的に判断して行動する力を養う。	・私物や貴重品の管理を徹底させることができたか。 ・交通安全の意識を高めることができたか。			
		3 自分の行動に責任を持たせ、精神的に成長・発達しようとする過程を支援する。	・生徒会、校風委員会等と連携して、目標の実現をめざすことができたか。 ・保護者や関係機関との連携を密にした支援体制を作ることができたか。 ・「特別な事情のある生徒」に対して、個々の状況に応じて情報共有や支援ができたか。			
教育活動	人権平和	1 基本的人権に対する認識を深め、主権者としての自覚を高めるとともに、他者の人権を尊重する姿勢を育てる。	人権について現実の事象に学び、解決の方策を考え、行動しようとする意志を喚起させるような学習や研修の機会を設けることができたか。			
		2 自主的・民主的な集団づくり、協働的な仲間づくり、いじめや差別をなくす関係づくりを日常の生活の中で図る。	仲間を大切にし、問題に気づくような気持ちを育ませる集団づくりや教育活動を行うことができたか。			
教育活動	生徒会	1 より良い学校生活を送るためにお互いの意見や立場を尊重し合いながら計画を立案し、その計画の実現を目指せるよう支援をする。	・生徒会諸活動の目的や意義を再確認し、生徒総会等で議論を重ね、発展的な活動を行うことができたか。 ・執行部の提起を受けて、ホームルームで議論を深めることができたか。			
		2 生徒会執行部、各委員会が連携して活動ができるよう生徒間の協働性を向上させる。	・執行委員会が原案に基づいた議論ができていくか。 ・生徒会活動全般について、執行部が全体の内容を把握し一体となって執行できているか。			
		3 地域社会へ積極的に発信し、地域に開かれた生徒会活動を目指す。	・りんどう祭を主とする諸活動を、地域に発信しアピールできているか。またそれに耐えうる内容か。 ・地域の活性化を目指す生徒の自主的な活動に対する支援ができたか。			
教育活動	図書・視聴覚	1 図書館利用の拡大を図り、読書習慣を定着させる。	図書館利用が増えたか。			
		2 教科・授業、小論文に関する資料の充実を図る。	利用者の要望に応じることができる資料の充実が図れたか。			
		3 快適な環境を整え、更なる施設の利用促進を図る。	自主学習などにも、多くの生徒が利用したか。			
		4 視聴覚室及び視聴覚教材の有効活用と各部署との連携を図る。	利用しやすい環境を整え、視聴覚室が有効に利用されたか。			

令和7年度（2025年度） 須坂高等学校 学校評価（部署別）

10須坂高等学校

領域	対象	今年度の具体的目標（評価項目）	評価の観点	成果と課題	評価	改善策・向上策
教育活動	保健	1 心身の健康管理を図る。	保健室への来室者への対応が適切であったか。 また、感染症対策を含め、関係者や担当部署との連絡・連携ができていたか。			
			学校保健安全法に則り、各種健康診断を計画的に実施し、事後指導が適切であったか。			
		2 環境の管理を図る。	学校環境衛生検査を適切に行い、その結果を生かしたか。			
			校内の危険箇所、安全に配慮が必要となる箇所の確認・改善ができたか。			
		3 保健指導を充実させる。	感染症対策を含め、自身の健康課題に対して、興味関心をもてるような広報活動ができたか。			
			・保健委員会等による広報活動を行ったか。 ・保健委員会の活動支援ができたか。			
教育活動	P T A	1 PTA活動を通じて、学校と保護者、及び保護者間の情報交換と親睦が深められるよう努める。	・PTA諸会議の案内や活動に関する情報を、適宜会員に周知できたか。 ・PTA総会・学年PTAに、保護者が大勢参加したか。 ・学年クラスの保護者の意見を、全体で共有できたか。 ・PTA見学会や就業体験に、保護者も多数参加した。			
		2 PTA研修会が保護者にとって、本校生徒の生活や進路指導についての理解と研究を深める機会となるよう努める。	・PTA研修会の案内や講師に関する情報を、適宜会員に周知できたか。 ・PTA研修会に、保護者が大勢参加したか。 ・来年度が隔年実施となる全体講演会の在り方や講師の選定について、保護者の意向を集約できたか。			
学校運営	教務	1 学校が円滑に運営されるように努める。	校内の諸行事を適切に計画し、運営できたか。			
			学校内規を見直し、整理することができたか。			
		2 本校の活動や校内の様子をを外部に発信し、本校への一層の理解を深めてもらう。	公開授業、体験入学、学校説明会、中学校への個別説明会を行い、多くの中学生・保護者へPRすることができたか。			
			ホームページ、パンフレット、須坂たよりなどによって、本校活動を地域の方々に知っていただくことができたか。			
学校運営	情報処理	1 情報処理機器及びネットワーク利用による校務の合理化の推進を図る。	校内ネットワークを安定的に維持管理するとともに、各種情報機器のトラブルに迅速に対処することができたか。			
			統合型校務支援システムの運用を円滑に行うことができたか。			
		2 情報処理機器及びネットワークを利用した教育活動の推進を図る。	授業や各種講演会、研究授業等で、校内のWi-Fi環境や生徒用iPad等の情報機器を活用できたか。			
			デジタル教材や機器の導入・更新を進め、教育活動におけるネットワークの活用を推進できたか。			
		3 情報の管理という面で個人情報や著作権に関して職員や生徒へ周知を図るとともに、ホームページを通じた適切な情報発信をおこなう。	個人情報や著作権保護、セキュリティ確保の大切さを職員と生徒に伝えたか。			
			学校ホームページについて、各係から依頼された話題を迅速にHPにアップすることができたか。			